

地方創生推進交付金等を活用した事業の実施状況報告

地方創生加速化交付金

NO.	交付対象事業の名称	概要	支出内容	主な取組内容及び成果	今後の課題及び方向性	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				外部有識者からの評価		
						指標	基準値 (H26)	目標値 (H28)	実績値 (H28)	事業の評価 (案)	外部有識者からの意見	
1	かわにし魅力創造・発信事業	<p>・シティプロモーションの展開により、市の認知度を向上させ、あらゆる場面で選ばれる都市となることで、定住人口の増加を図る。</p> <p>・新名神高速道路開通を契機とした多機能型魅力創造・発信拠点の整備に向けた検討を行い、交流人口の増加及び転入人口増加への誘導・地域産業の活性化及び雇用創出・健康増進機能などによる市の魅力の特色化を図る。</p>	<p>○シティプロモーションに係る委託等 ・住宅・結婚・観光関連サイトなどを活用したシティプロモーション事業委託料等</p> <p>・大阪中心部のシネアドやデジタルサイネージの広告料等</p> <p>・市民参加型フェイスブックの運営に係るシステム使用料等</p> <p>・シティプロモーションサイト等の運営に係る業務委託料等</p> <p>○「かわにし魅力創造・発信拠点」に係る基本計画策定支援業務委託料</p>	<p>○シティプロモーションに係る取組み ・住宅・結婚・観光関連サイトなどを活用したPRを実施 (クリック数 8,938回)</p> <p>・大阪中心部でシネアドやデジタルサイネージを活用した市のPRの展開 (動画再生回数 約7,800回)</p> <p>・市民参加型フェイスブックによる情報発信を行うとともに、登録者を対象に交流会を開催 (登録者数 173人)</p> <p>・観光デジタルガイドブック「かわにしさんぽ」の内容検討</p> <p>○魅力創造発信拠点の整備に向け、民間事業者へのヒアリング等を実施し、事業の参入の可能性を調査</p>	<p>○本市の魅力の認知度の向上に加え、交流・定住人口の増加につなげるシティプロモーションの深化</p> <p>■あらゆる場面で選ばれる都市となるため、フェイスブックやInstagramといった多様なチャネルを用いたシティプロモーションの展開</p> <p>○まちの賑わいの創出につながる土地利用に向けた調整</p> <p>■所有者の意向や開発条件等を踏まえ、最適な土地利用の検討</p>	指標①	市公式シティプロモーションサイトへのアクセス数	20,208件	30,000件	135,413件	総合戦略のKPI達成に有効であった	・シティプロモーションの展開に当たっては、情報発信あるいはそのためのメディアを含めて、きっちり目標を定めて絞り込んで効果的に進めるとともに、本当に有効なシティプロモーションとは、何なのかということをしっかり考えて取り組む必要がある。

地方創生推進交付金

NO.	交付対象事業の名称	概要	支出内容	主な取組内容及び成果	今後の課題及び方向性	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				外部有識者からの評価							
						指標	基準値 (H26)	目標値 (H30)	実績値 (H28)	事業の評価 (案)	外部有識者からの意見						
1	新たな魅力の創造と発信による交流・転入促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな切り口で地域活性化を進める取り組みを効果的にPRすることで、交流人口の増加を図る。 ・新名神高速道路の開通を契機とした多機能型魅力創造・発信拠点の整備を軸として高校跡地や寄付山林の有効活用を図り、新たな魅力スポットを創造する。なお、整備にあたっては、民間活力を積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○のせでんアートライン妙見の森負担金 ○旧加茂小学校・旧川西高等学校跡地活用基本構想策定支援業務委託料 	<ul style="list-style-type: none"> ○のせでんアートライン妙見の森2017の開催に向けた検討 ○旧加茂小学校・旧川西高等学校跡地活用に係る基本構想の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流・定住人口の増加に向けた取組みの展開 <ul style="list-style-type: none"> ➡のせでんアートラインをはじめとしたイベントの開催や新たな魅力スポットを整備 	<ul style="list-style-type: none"> 指標① 転入者数 指標② シティプロモーション専用サイトアクセス件数 指標③ 観光客入込数 	5,792人	5,900人	5,552人	135,413件	2,092千人	2,300千人	2,249千人	総合戦略のKPI達成に有効であった	・魅力の創造・発信施策については、事業の取組実績やKPIの実績値を単純評価するのではなく、事業実施による効果が見えるよう細分化されたデータ分析を工夫し、効果の検証を行う必要がある。		
2	若者・女性を中心とした新たな雇用の創出と産業活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ精神をもった事業者を支援するため、市の魅力を高める特産物などを活用した商品開発や新たな事業提案への支援等を行う。 ・クラウドソーシングの活用や、起業に関心のある段階から起業後の事業の展開まできめ細かなフォローアップを展開することで、起業しやすい、働きやすい環境を創出するとともに、39歳以下の勤労意欲はあっても就労できていない若年者を対象にハローワークと連携して就労体験を提供し、経験やビジネスマナーを獲得してもらうことにより、市内就業率の向上等を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○提案公募型地域経済活性化事業補助金 ○新商品開発等事業者補助金 ○在宅就業促進支援事業委託料 ○男女共同参画カレッジ委託料 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業者の新たなチャレンジの後押しによる産業の活性化に向けて、 <ul style="list-style-type: none"> ・提案公募型地域経済活性化事業補助制度の実施 (採択件数: 1件) ・新商品開発補助制度の実施 (採択件数: 2件) ○多様な形での就労を支援するため、 <ul style="list-style-type: none"> ・市HPIに在宅就業の専用ページをオープン (アクセス数: 976回) ・クラウドソーシング活用講演会の実施 (参加者数: 188名) ・記事などの書き方を学ぶライティングセミナーの実施 (参加者数: 19名) ○生活困窮者の就労につなげることを目的に、就労支援員がクラウドソーシング活用セミナーの講演会に出席 ○川西しごと・サポートセンター内に就労体験コーディネーター (キャリア・コンサルタント) 1名を配置 ○ハローワークとの連携により市内外 (基本的には近隣) の求人情報の提供を受け、受入事業所を開拓 (実績: 43事業所) ○市内在住の39歳以下の未就職者を対象に、受入事業所での就労体験を経て、就労に結び付ける事業の実施 (体験参加人数: 23人、内定者: 19人) ○女性の新たなライフスタイルの確立を支援するため、男女共同参画カレッジを開催 (延べ参加者数: 148人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○制度活用の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ➡広報等による制度の周知の徹底 ○就労支援の成果拡大に向けた制度利用者の確保 <ul style="list-style-type: none"> ➡広報等による制度の周知の徹底 ○女性への新たな仕事への提供に向けてクラウドソーシング活用講演会の定員を超える希望者への対応 <ul style="list-style-type: none"> ➡クラウドソーシングによる働き方の提供の拡大に向けて、事業の進め方の再検討の実施 ○女性の新たなライフスタイルの確立に向けた継続的な支援 <ul style="list-style-type: none"> ➡男女共同参画カレッジの開催による女性の新たなライフスタイルの確立に向けた継続的な取組みの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 指標① 若年者就労者数 ※30代まで。一体的実施事業を通じて就職した若年者及び若年者就労体験事業を通じて就職した若年者 指標② 女性の起業数 指標③ 在宅就労登録者数 	96人	116人	117人	0件	6件	1件	0人	70人	19人	総合戦略のKPI達成に有効であった	・若者の就労者数、女性の起業数、在宅の就労者数をKPIに掲げているが、小売事業者が弱り、また、地域の中での人口密度が薄くなる中で、これからのように雇用の創出と産業活性化を支えていくのかという観点で、必要に応じて事業の組み直しを考える必要がある。

結婚新生活支援助成補助金

	交付対象事業の名称	概要	支出内容	主な取組内容及び成果	今後の課題及び方向性	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				外部有識者からの評価		
						指標	基準値 (H27)	目標値 (H32)	実績値 (H28)	事業の評価 (案)	外部有識者からの意見	
1	川西市結婚新生活支援助成制度	<ul style="list-style-type: none"> ・若年世帯の結婚新生活を応援するため、敷金・礼金といった住居費及び引越越し費用を助成 (上限18万円) する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○結婚新生活支援補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ○結婚新生活支援助成制度を創設し、若い新婚世帯の結婚新生活を支援。(実績: 27件) 	<ul style="list-style-type: none"> ○制度の周知が必要 <ul style="list-style-type: none"> ➡結婚式場相談窓口におけるPRや不動産関係事業者との連携による幅広い周知の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 指標① 婚姻件数 	588件	620件	調整中		総合戦略のKPI達成に有効であった	・事業そのものの対象者への浸透性を高めるためにも、兵庫県婚活支援事業と連携を図るなど、効果的なPRを展開し、事業の波及効果をしっかり見極める必要がある。